



この事業は、「公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構」と「ひょうご安全の日推進県民会議」の助成を受けて実施しています。

第7回 防災・社会貢献ディベート大会

実施報告書

論題

「わが国は、災害危険区域内を
非住宅地域として指定するべきである」

2016年2月13日(土) 9:00~17:20
神戸学院大学ポートアイランドキャンパスB号館

【主催】防災・社会貢献ディベート大会実行委員会(構成団体:兵庫県、神戸学院大学学際教育機構防災・社会貢献ユニット、神戸学院大学附属高等学校、兵庫県立舞子高等学校、ポーアイ4大学連携推進センター(神戸学院大学、神戸女子大学、兵庫医療大学、神戸女子短期大学)ほか)

【共催】神戸学院大学、社会貢献学会

【協力】関西ディベート交流協会(KDLA)、TKK3大学連携プロジェクト(東北福祉大学、工学院大学、神戸学院大学)

【後援】アジア防災センター、国際復興支援プラットフォーム、国際防災研修センター、公益財団法人兵庫県国際交流協会、阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター、JICA関西、JICA海外ボランティアひょうご応援団、CODE海外災害援助市民センター、朝日新聞神戸総局、共同通信社神戸支局、神戸新聞社、産経新聞社、時事通信社神戸総局、日本経済新聞社神戸支社、毎日新聞神戸支局、読売新聞神戸総局、サンテレビジョン、NHK神戸放送局、特定非営利活動法人工エムわいわい、ラジオ関西

- 実行委員長:中田 敬司(神戸学院大学 現代社会学部 社会防災学科 教授)
- 技術・審査指導:岡野 勝志氏(関西ディベート交流協会(KDLA)顧問)

● お礼とごあいさつ

防災・社会貢献ディベート大会実行委員長

中田 敬司

2010年より毎年開催しております防災・社会貢献ディベート大会が、2016年2月13日に第7回大会を無事終えられましたことをご報告いたしますとともに、さまざまな形でご支援ご協力くださいました皆様に、心より厚く御礼申し上げます。

今大会は、「わが国は、災害危険区域内を非住宅地域として指定するべきである」を論題とし、全国(宮城、東京、兵庫)からエントリーした12チームが災害危険区域の捉え方、また非住宅地域として指定することへのメリットや課題、導入におけるプラン、その必要性や意義等について議論を重ねました。

各チームは災害危険区域の定義や非住宅地域指定への実現へのプラン等について事前に調査を重ね周到に準備し、根拠に基づいた主張(立論)を策定して、大会当日を迎えました。このディベートについては、大会当日はもちろんですが、その準備の過程そのものが、防災の知識習得、若者を中心とする参加者の論理的思考力や判断力を高め、防災におけるその教育効果は絶大であると実感しております。また大会当日の試合によりチーム相互の議論を展開することにより、プレゼンテーション能力や傾聴能力、さらに聴衆やジャッジへのコミュニケーション能力向上にもつながったと感じます。

また、地域性や世代が異なる参加者がそれぞれの視点から捉える災害危険区域の考え方や非住宅地域の在り方、非住宅地域の将来的土地利用等について哲学やアイディア、立論を述べ合い、参加者間でネットワークを築けたことは意義深いと考えます。

今大会は、広島の土砂災害、鬼怒川決壊等の災害の記憶が鮮明だったことから、こうした自然災害を自らのこととして考えやすく、参加者の防災への意識がより高まったのではないかでしょうか。アンケートからも「自身の家の周りについて考えることの必要性を感じた」「防災について改めて考える機会となった」等の感想が寄せられています。

また、阪神・淡路大震災時にラジオ報道に従事されていたラジオ関西相談役 三枝 博行氏をお迎えし、講演会「災害列島に住む覚悟～1.17 21年からの展開と課題」を開催しました。当時の状況とともにそれらを振り返り、今後の災害対策の在り方についてご講演いただきました。

そして同時に、パネル展「阪神・淡路大震災の教訓を活かした災害支援活動」を大会一週間前から開催しました。学生たちの取組みを中心に活動の目的や工夫を共有することができました。

今後も防災・社会貢献をテーマに、共に学びあえる場づくりを継続していきたく、ご支援ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

● 実施プログラム

時 間	プロ グ ラ ム	会 場
9:15～9:30	開会式 ○開会宣言 ○ルール説明など 審査委員長 岡野勝志氏 ○予選リーグ 対戦表発表	○ B203講義室
9:45～12:00	予選リーグ(A～D)	○ 予選リーグA: B204 ○ 予選リーグB: B206 ○ 予選リーグC: B207 ○ 予選リーグD: B209
12:00～13:00	昼食、休憩	
13:00～13:10	インフォメーション	○ B203講義室
13:10～13:40	講演会 「災害列島に住む覚悟～1.17 21年からの展開と課題」 講師:三枝博行氏(ラジオ関西相談役)	
13:40～14:00	進出チーム発表 ○予選リーグ総評・判定 ○準決勝進出チーム発表 ○準決勝組み合わせ発表	
14:10～15:10	準決勝 ※2試合同時進行	○ 第1会場: B207 ○ 第2会場: B209
15:20～16:20	決 勝	○ B203講義室
16:20～16:50	表彰式、閉会式	

● 特別講演

2016年2月13日(土) 13:10~13:40

「災害列島に住む覚悟 ~1.17 21年からの展開と課題」

講師：三枝博行氏（ラジオ関西相談役）

21年前の社会状況とともに震災を振り返り、今後の災害対策の在り方を熱くご講演いただきました。

次を担う若者たちが21年前の震災に想いを馳せ、命・家族の大切さ、そして今後の防災の在り方について、それぞれが改めて考える機会となりました。



講師 三枝博行氏

● パネル展示

2016年2月9日(火)～2月15日(月)

「阪神・淡路大震災の教訓を活かした災害支援活動」

震災の記憶を風化させないことはもちろん、さらに一步進んでその教訓を活かした若者たちの災害支援活動を視覚的に捉え、改めて災害と今後の災害支援活動に向き合う空間を作ることができました。



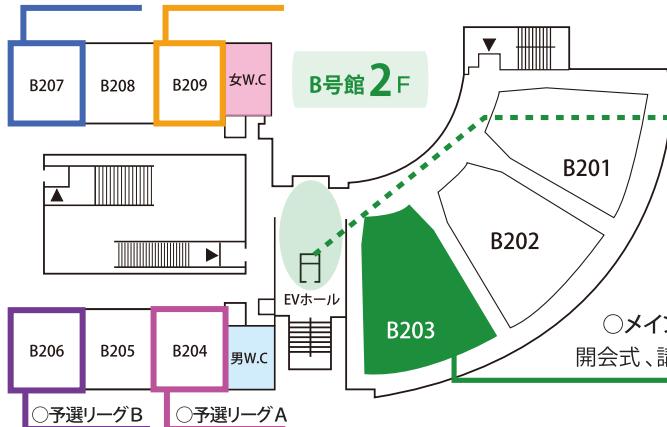
展示を覗き込む高校生や大学生



○準決勝第1会場
○予選リーグC

○

準決勝第2会場
予選リーグD



○パネル展

「阪神・淡路大震災の教訓を活かした災害支援活動」



会場 神戸学院大学ポートアイランドキャンパス

大会の記録

「わが国は、災害危険区域内を非住宅地域として指定するべきである」

○予選リーグ対戦表

第1試合 9:45~10:30 第2試合 10:30~11:15 第3試合 11:15~12:00

ブロックA 会場 B204	スケジュール	肯定	否定	ブロックB 会場 B206	スケジュール	肯定	否定
	第1試合	滝二FIAC	東北閣下巻		第1試合	チーム「K3」	we are KANBOU!
ブロックC 会場 B207	スケジュール	肯定	否定	ブロックD 会場 B209	スケジュール	肯定	否定
第2試合	東北閣下巻	兵庫県立大学 防災ユニット	第2試合	we are KANBOU!	フリーライダー♪	甘Chan!!	
第3試合	兵庫県立大学 防災ユニット	滝二FIAC	第3試合	フリーライダー♪	チーム「K3」	らぶandぴーす	

○決勝トーナメント表



○受賞者

優勝 東北閣下巻 (東北福祉大学)

準優勝 Phoenix2 (神戸学院大学附属高等学校)

ベストハイスクール賞 Phoenix2 (神戸学院大学附属高等学校)



【特別賞】

立論賞 we are KANBOU! (兵庫県立舞子高等学校)

オーディエンス特別賞 かおさご (神戸学院大学 中田ゼミ)

敢闇賞 甘Chan!! (一般社団法人 D. P. I.)

最優秀ディベーター賞 渡部 優希さん (東北福祉大学 東北閣下巻)

審査委員長奨励賞 森 友香里さん (兵庫県立大学 らぶandぴーす)

中畠 浩平さん (東北学院大学 チーム やつふううう♪)



▶ 詳しくは公式ホームページへ

決勝戦記録、決勝ジャッジ、講評は公式ホームページにてご覧いただけます。
URL:<http://debate-bosai.info/>

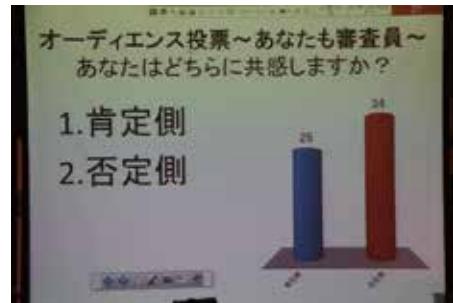
準優勝・ベストハイスクール賞 Phoenix2



学生司会 岡本愛美さん



実行委員長あいさつ



クリッカーの導入により会場のみなさんからも投票いただきました。
集計結果は即時画面で表示され、オーディエンス投票として審査に反映されます。

● 審査員



岡野審査委員長の決勝戦講評



審査室の様子

○ 実行委員長

中田 敬司 神戸学院大学 現代社会学部 社会防災学科 教授

○ 技術・審査指導、審査委員長

岡野 勝志氏 関西ディベート交流協会 顧問 株式会社プロコンセプト研究所 所長

□ ディベート審査員：関西ディベート交流協会 会員 12名

榎戸 丈夫氏	高畠 欽哉氏	松本 敦氏
香川 裕嗣氏	竹末 耕三氏	宮 耕氏
加藤 一輝氏	野村 和久氏	大波 英幸氏
高瀬 誠氏	蓮尾 耕司氏	田中 綾子氏

関西ディベート交流協会(KDLA)は、1990年に発足した大学生・社会人向けのディベート交流組織です。
(KDLAは“Kansai Debate League Association”的頭文字)
今大会の審査員は、企業経営者を中心としたメンバーです。

□ 防災・社会貢献専門家、聴衆審査員 10名

小山 達也氏	兵庫県 産業労働部 能力開発課 公共訓練班長 元防災企画係長
垂井 加寿恵氏	神戸学院大学ボランティア活動支援室
藤本 茂氏	神戸市危機管理室 震災教訓・発信担当係長
松山 雅洋氏	神戸学院大学客員教授 前神戸市消防局予防部部長
安富 信氏	神戸学院大学 現代社会学部 社会防災学科 教授 前読売新聞編集委員 社会貢献学会広報委員長
大川 伸郎氏	おおかわ法律事務所弁護士
高橋 実芳子氏	NPO神戸の絆2005
橋 みちほ氏	神戸女子大学・神戸女子短期大学 図書館 課長補佐
石田 真愛氏	神戸学院大学人文学部人間文化学研究科修了
藤原 麗生氏	神戸学院大学防災・社会貢献ユニット卒業生

そして、オーディエンス投票してくださった会場のみなさま



一般+高校

滝二FIAC

(滝川第二高等学校)



大学

フリーライダー♪

(東北学院大学)



高校

we are KANBOU!

(兵庫県立舞子高等学校 環境防災学科)



大学

らぶandぴーす

(兵庫県立大学)



高校

Phoenix2

(神戸学院大学附属高等学校)



大学

兵庫県立大学 防災ユニット

(兵庫県立大学)



いろんな年齢の方のディベートを見て、とても刺激を受けました。

この経験をきっかけに、大学でも色んなことに挑戦していきたいと思います。

ディベート大会の様子が熱い試合を通して理解できました。

ひとつの事について資料を集めて長い時間考えることは少ないので良い経験であった。
いろんな大学、高校、社会人の方とディベートが終わった後も会話して楽しい時間を過ごせた。

Enjoy!

全てが理論と証拠のもとに確立させられるディベートは、とても難しく苦戦しましたが、大会を通じてたくさんのが学べたと思います。
メンバーと先生の4人で協力した甲斐があった。

ぜひ、また機会があれば参加させていただければと思います。

大学 東北閣下巻

(東北福祉大学)



一般+大学 甘Chan!!

(東北社会人チーム)



一般 チーム「K 3」

(工学院大学)



大学 かおさご

(神戸学院大学)



大学 チーム やつふううう♪

(東北学院大学)



大学 チーム防災学科1回生

(神戸学院大学)



来年も機会があれば是非参加させていただきたいです。

ディベートの難しさ面白さ、論理的に思考することの重要性を知ることができました。

考えても考えても答えが出ず、出した答えが確かなのかもわからず、何度もくじけそうになりました。

結果的に先生のアドバイスも頂きつつ、諦めず3人で考え抜いて何とか当日まで頑張ることができました。

大会本番では他人にわかりやすく伝えることの難しさを学びました。
これらの力は、数年後社会人の仲間入りをする私たちにとって大変意味のあるものだと思います。

大会終了直後、まだ興奮の冷めない参加者のみなさまに感想を寄せてもらいました。

**参加チーム
の声**

今大会も支えてくださってありがとうございます！



「わが国は、災害危険区域内を非住宅地域として指定するべきである」

第7回(今大会) 2016年2月13日(土)

「わが国は『防災』を義務教育の教科にすべきである」

第6回 2015年2月21日(土)

「被災自治体は未来型都市構築を最優先すべきである」

第5回 2014年2月15日(土)

「わが国は大学生の社会貢献活動への支援を拡充すべきである」

第4回 2013年2月16日(土)

「我が国は消防団を大幅に強化すべきである」

第3回 2012年2月18日(土)

「わが国は災害対策本部を常時設置すべきである」

第2回 2011年2月19日(土)

「自主防災組織の育成は最も優先すべき防災対策である」

第1回 2010年3月22日(月・祝)

【協賛・寄付】

一般財団法人敬愛まちづくり財団、株式会社コンプラス、特定非営利活動法人映像記録、特定非営利活動法人NGO活動教育研究センター、株式会社ジーべック、株式会社ノルメカエイシア、TOA株式会社、株式会社都工業、はんこ広場神戸元町店、株式会社アレト、NPO神戸の絆2005、林洋克様、坂東淳様、松崎留美様、越山健治様、栗林和枝様、向井亮裕様、鼠尾弘恵様、定池祐季様、山本保博様、田中義行様